



12月の園だより

令和4年12月1日
目黒区立田道保育園園長


気温が低い日が続きよいよ冬の到来です。保育園ではお楽しみ会や新年会の準備、育てた稲を使ってしめ縄作りなどの活動から師走を感じます。

12月は幼児クラスのにこにこ子ども会です。子どもたちが日頃から親しんでいる物語を題材に劇発表をします。先日3歳クラスの練習を観きに行くと、大好きな役になりきって保育士と一緒にセリフの掛け合いを楽しんでいました。「今日は園長先生がお客様だね」と保育士が子どもたちに声を掛けると、「見ててね」とばかりに張り切って大きな声でセリフを言い、全身で動物を表現している子の中に少し緊張した表情になった子がいて、自分の出番になるとうつむいていました。「はずかしくなっちゃったね」と傍にいた保育士が言うと小さく頷いて保育士の後ろに隠れてしまいました。見てもらう喜びと緊張が渦巻いていることが伝わってきました。昼食の時に3歳クラスの前を通ると、練習でははずかしそうにしていた子が「あのね、僕ね、きばもちいのししなんだ」と他のクラスの保育士に話しているのを見かけ、心の中では劇ごっこに参加して自分のイメージした役を誇らしく思っている姿に嬉しい気持ちになりました。さて明日は本番です。保護者の方々に見守られ、友達や保育士と一緒に楽しんで演じることを想像してワクワクしています。

子どもたちは言葉や気持ちの表現の仕方が未熟で本当の気持ちは目に見える行動と違うことが沢山あります。一人ひとりと向き合い、見守ったり、時には背中を押ししたりしながらやりたいことを叶え、自分の力を発揮できた喜びを感じられるような関わりをしていきたいと思えます。

今年度も保育園の運営にご理解、ご協力を頂きありがとうございました。よいお年をお迎えください。

今月の予定	
にこにこ子ども会	
(3, 4, 5歳児クラス)	
乳児お楽しみ会	
中旬	避難訓練・身体測定



年末年始 12月29日～1月3日がお休みです

『 小さな受け持ち患者さん 』 看護師より



巡回時に気づいた1歳児クラスの子の手のトラブル。「痛いかな」と声を掛けるや否や、近くの保育士の元へ逃げ込みます。これから何をされるのかと恐怖を感じていたようで、泣きながら看護師の方を見つめています。「おてて痛いね」とその小さな手を包んであげると少し安心したのか、身体の力が抜け最後に絆創膏を貼ると、さっきまでの泣き顔がにっこり笑顔に大変身です。部屋を出る時には長い長いバイバイでお見送りをしてくれました。今では看護師を見ると、「んっ…」と身振り手振りで一生涯懸命に、自分に起こった体の変化を積極的に教えてくれます。「治ってきたね 大丈夫だよ」「よく頑張ったね」と労うとコクリと頷き笑顔で膝にちょこんと座り遊び始めてくれた時は感動と愛おしさでいっぱいでした。そんな子どもたちの姿を活力にして、“看護師=安心して自分の不調を伝え心身を預けられる存在”となれるようこれからも、小さな受け持ち患者さんたちを温かく見守り、安心を届けていきたいと思えます。

★先生 友達 いっしょに遊ぼう★

0, 1, 2 歳児クラスの室内の様子



『 ない? あった! 』

0 歳児クラス (めだか組)

チェーンリングやラベル、ビーズなど様々な素材で落とし遊びをしています。カップをたくさん並べて保育士が「ちゅっちゅっこっこ〜♪」とわらべうたを口ずさむと、そのリズムに合わせてカップに1本ずつチェーンリングを入れていました。たくさんあったカップすべてにチェーンリングを入れると、なんとも満足そうな表情でこちらを見ていました。「わぁたくさん入ったね」とさらにカップを追加すると、今度はチェーンリングの入ったカップに蓋をし始めました。「あれ?なくなっちゃったね」と言うと、にっこり笑い得意そうに開けて見せてくれます。「あったね」と言うと、また蓋をして“ない”を作り出し保育士を見ます。隠れて見えなくなる不思議や面白いを共有し何度も何度も楽しみました。身の回りのことに興味を持ちやってみたいと自分から働きかけ遊ぶ姿が増えてきました。驚きや発見と一緒に喜び言葉にして伝え、ゆったりとした関わりを大切にしながら過ごしています。

『 あひるれすとらん 』



1 歳児クラス (あひる組)

お皿いっぱいチェーンリングを入れ「オムライスどうぞ」紫色を集めて「ぶどうです」丸いフェルトを並べて「パンケーキですよ」とお料理自慢のシェフがたくさんいます。カレーを作ってくれた子に保育士が「食べてもいい?」と聞くと「いいよ、熱いよ」と答えフーフーと吹いてくれます。一緒にフーフーをして「いただきます」と食べると、味はどう?という表情で見つめています。「からい?」と聞くので、「からい でもおいしいね」と言うと嬉しそうににっこり。それを見ていた子が「からいよ」といたずらっぽい顔で運んでくれた料理はアイスでした。「このアイスから〜い」と大きな口で食べながら辛そうな表情をすると「〇〇ちゃんも」と友達も辛い料理を食べて「から〜い」を味わう姿がありました。辛いパンや、辛いジュースなどいつの間にか辛いフェアになり“辛い”を共通にして自分なりのイメージを膨らませ、再現遊びが保育士や友達と繋がって楽しさが広がっています。こだわりシェフ同士の食材の取り合いも名物の一つですが、組み合わせ自由な斬新なメニューが自慢のあひるれすとらん。是非食べに来ませんか。



『 今日も遊ぼう 』

2 歳児クラス (らっこ組)

子どもたちが好きなブロック遊び。部屋に入ると真っ先にブロックコーナーへ向かい「このかごに入っているブロックは全部僕のもの」といった様子で傍に置きながら自分の使いたい色のブロックやパーツを手に入れています。同じブロックでも動物園を作るのが好きな子や、乗り物を作るのが好きな子など様々です。ブロックを細長く繋げて電車を作り「見て、はやぶさ!!」という声が聞こえると「ぼくはかがやき」とお互いに作った電車を見せ合いながら「ガタンゴトン」と部屋中を所狭しと走らせ始めます。「一緒に遊ぼう」という言葉がなくても乗り物を作るのが好きな友達同士で自然と一緒に遊び始めています。保育士が積み木でトンネルを作ると「僕が!」「〇〇ちゃんが」と我先にトンネルをくぐろうとやってきてその衝撃でトンネルは崩壊してしまいました。「スピードに気をつけてくださいね」と作り直していると「こっちにもトンネルを作ろう」と電車を止めてトンネルを作り、その後並走させながら上手にくぐると顔を見合わせてやったねと言う笑顔で、再び電車の旅へと出発して行きました。